平成27年度使用教科用図書の採択について

■　平成27年度に使用する教科用図書について、大阪府教育委員会は各府立高等学校が選定した教科用図書をすべて採択する。

【内訳】

　１　すべての教科用図書を条件を付さずに採択する学校　 〔　１４６　〕校（課程）

　２　条件付きで採択する教科用図書を含む学校　　　　　 　 〔　　　８　〕校（課程）

　（１）教育委員会が作成する別紙補完教材を使用することを条件とした教科用図書を採択する学校 〔　８　〕校

　　　　　　　　

（参考）　別紙補完教材を使用することを条件として採択することとなった教科用図書の記述内容

　　　

　（２）同一学年で使用する場合、別途示した内容を生徒に教えることを条件とした教科用図書を採択する学校　〔 ０ 〕校

（参考）下記に示した内容を生徒に教えることを条件として採択することとなった教科書の記述内容

　

〔条件〕　以下の内容を生徒に教えること。

「世界史Bの教科書にある70万人は、日本『内地』に送られた朝鮮人の概数。　新日本史Aは、p.178の特集『海外　植民地と戦争の記憶』との整合性をはかる必要などから，『樺太などを含めた』概数として約80万人と記述。したがって、これらの概数の違いは、連行された地域に樺太を含むかどうかによるというのが当該教科書会社の説明である。」